

# 道 徳 教 育

## 1 研究主題

自他のよさを認め、他者と豊かな人間関係を築こうとする生徒の育成

## 2 主題設定の理由

生徒が道徳的諸価値についての理解を基に、考え、議論する中で人間としての自覚を深め、道徳的実践につなげていくことができるようにすることを道徳教育では求めている。

前年度の県学習状況調査質問紙では、「自分にはよいところがあると思う」と感じている生徒の割合が県平均より少し低いが、自分自身を認め、よりよい姿でありたいという意識が感じられる。一方、学年によって意識の格差があることや、保護者が子どもの社会性や思いやり等を気にしていることなど、課題も多い。実際、集団のモラルに納得できない生徒、理解していても実践できない生徒、人間関係に悩みを抱える生徒も多く、集団や社会生活におけるルールやマナー、他者と共に社会を築いていこうとする意識、仲間との関わり方という点で改善と向上が求められる状況にある。

そこで、自己を見つめ、互いに議論する中で、自他の思いを大切にし、人間としての生き方についての自覚を深められるようにするとともに、集団生活に欠かせない約束やマナーを守り、互いに協力し合いながら気持ちよく生活できる生徒、相手の立場に立った言動をすることのできる生徒を育てたいと考え、本主題を設定した。

## 3 重点目標

- (1) 差別や偏見をもつことなく、正義と公正さをもって行動する生徒を育てる。
- (2) 自他のよさを認め、集団生活を通して互いに高め合うことのできる生徒を育てる。

## 4 具体的施策

- (1) 自分と向き合い、共感的な人間関係を育てる道徳の授業実践
  - ① 全体計画や年間指導計画に基づき、計画的に35時間の道徳の授業を実施する。また、計画を弾力的に運用し、実践する。
  - ② 主発問の吟味を中心に据えた教材研究を行い、問題解決的な学習や体験的な学習などの学習方法を工夫して、考えを表現し、生徒同士で深め合う活動を充実させる。
  - ③ 学習シートを積み重ねることで、生徒の変容や成長を生徒自らが実感したり、教師が適切に評価に生かしたりできるようにする。
- (2) 教育活動全体で実践する、道徳教育の推進
  - ① 全学年共通重点目標と学年重点目標をそれぞれ1項目に厳選し、各教育活動で重点的に取り組む。特に、道徳科では、重点項目について全学年共通と学年を合わせて4～5時間設定する。
  - ② 別葉を活用することで、重点目標について道徳科と各教科等との関連を全教職員で共通理解を図り、学校教育全体で実践し、充実改善していくことができるようにする。
  - ③ 道徳通信や学年部会などを活用し、実践資料や指導過程、評価をはじめとする今後の道徳教育の在り方について情報共有や研修を深める。
  - ④ 学級に道徳コーナーを設置し、生徒の感想の他、学校生活における生徒の活動の様子を掲示して、生徒同士が互いのよさや努力に気付くことができるようにする。

# 道 徳 科

## 1 研究主題

自他のよさを認め、他者と豊かな人間関係を築こうとする生徒の育成

## 2 主題設定の理由

生徒が道徳的諸価値についての理解を基に、考え、議論する中で人間としての自覚を深め、道徳的実践につなげていくことができるようにすることを道徳科では求めている。

授業の様子からは、意欲的に、ペアやグループの活動で発表し合える雰囲気が出てきている。一方で、主人公の心情に寄り添って考えたり、自分事として捉えたりすることを苦手としている生徒が多い状況である。

そこで、自己を見つめ、互いに議論する中で、自他の思いを大切にし、人間としての生き方についての自覚を深められるようにするとともに、差別や偏見をもつことなく、正義と公正さをもって行動し、集団生活を通して互いに高め合うことのできる生徒を育てたいと考え、本主題を設定した。

## 3 生徒の実態と道徳科の目指す学習者像

### (1) 生徒の実態

- ① 授業に向かう意欲は高いが、自分の思いや考えを工夫して伝えることに困難を感じる生徒が多い。
- ② ペアやグループの活動には意欲的であるが、議論して考えを深める活動を苦手と感じている生徒が多い。
- ③ 資料の主人公の心情に寄り添ったり、感じたことや考えたことを自分事として捉えたりすることを苦手としている生徒が多い。

### (2) 目指す学習者像

- ① これまでの自分の経験やその際に感じたことや考えたことを基に、道徳的価値について自分事として考えることができる生徒
- ② 対話を通して、物事を多面的・多角的に考え、自己を見つめ、道徳的価値についての理解を深めることができる生徒
- ③ これまでの生き方を振り返り、道徳的価値を自分自身との関わりで捉え、自らの成長を実感したり、これからの生き方につなげていくことができる生徒

## 4 教科経営の概要

### (1) 研究の重点

- ① 対話を通して、考えを深め合う活動  
・多様な感じ方や考え方にふれ、生徒同士で深め合う活動の充実
- ② まとめ・振り返り  
・自らの成長や変容を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりする場面の設定

### (2) 具体的施策

- ① 対話を通して、考えを深め合う活動  
・主発問の吟味を中心に据えた教材研究を行い、生徒の発言を生かして道徳的価値の理解を自分の生き方の自覚へと深めていくように言葉をつなげていく。
- ② まとめ・振り返り  
・理解を深めた道徳的価値に照らし合わせて、自分の生き方について振り返ることで、変容や成長を実感したり、これからの生き方や方向性を考えることができるようにする。
- ③ その他  
・導入時に、生徒の体験や身の回りの出来事から道徳的価値と関わりを見いだすことで、考える必要性のある授業を展開する。

# 令和2年度 道徳教育全体計画

潟上市立天王中学校

